



平成 27 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 ダイニック株式会社
代表者名 代表取締役社長 大石 義夫
 (コード：3551、東証第 1 部)
問合せ先 本社企画部 部長 北村 圭正
 (TEL. 03-5402-3130)

子会社の解散および子会社に対する債権放棄に関するお知らせ

当社は、平成 25 年 12 月 10 日付適時開示「子会社の事業縮小及び特別損失発生に関するお知らせ」において、当社子会社である台湾科楽史工業股份有限公司(以下「台湾クロス社」)について事業縮小をお知らせしましたが、このたび、当社取締役会において台湾クロス社を解散すること、また当社の同社に対する債権を放棄することを本日決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 解散に至った経緯および債権放棄について

台湾クロス社は昭和 42 年に台湾での各種クロスの生産拠点として設立し、アジア地域を始めとした当社グループ顧客への迅速な対応を展開してまいりましたが、中国企業との競争激化により製造製品が価格競争力を失ったため、平成 26 年 8 月より生産活動を終了しておりました。その後、仕入商品販売事業に特化して収益改善を目指してまいりましたが、現況の為替環境下では販売拠点としての事業継続は収益確保が困難であると判断し、解散することといたしました。

また、現在債務超過の状態である台湾クロス社に対する債権は回収困難と判断しており、同社の解散に伴い、その債権の一部を放棄いたします。

2. 解散する子会社の概要

(1) 名 称	台湾科楽史工業股份有限公司	
(2) 所 在 地	台湾 苗栗縣苗栗市文聖里文發路 9 5 5 號	
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 天野 高明	
(4) 事 業 内 容	各種クロスの製造販売	
(5) 資 本 金	NT\$ 140,606,400	
(6) 設 立 年 月 日	昭和 42 年 (1967 年) 11 月 1 日	
(7) 大株主及び持株比率	ダイニック株式会社 100%	
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	当社は、同社の議決権の 100%を保有しております。
	人 的 関 係	同社取締役 3 名は当社役員 1 名および従業員 2 名が兼務しております。
	取 引 関 係	当社は同社と商品売買取引があります。また同社に対し資金の貸付を行っております。
	関連当事者への該当状況	同社は当社の連結子会社であります。

(9) 当該会社の最近3年間経営成績及び財政状態				
	決算期	平成23年12月期	平成24年12月期	平成25年12月期
純 資 産		△80 百万円	△137 百万円	△544 百万円
総 資 産		1,019 百万円	1,128 百万円	983 百万円
1 株 当 たり 純 資 産 (円)		△56 円 90 銭	△97 円 44 銭	△386 円 90 銭
売 上 高		671 百万円	648 百万円	743 百万円
営 業 利 益		△31 百万円	△19 百万円	△71 百万円
経 常 利 益		△54 百万円	△39 百万円	△100 百万円
当 期 純 利 益		△55 百万円	△40 百万円	△359 百万円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)		△39 円 12 銭	△28 円 45 銭	△255 円 32 銭
1 株 当 たり 配 当 金		0 円	0 円	0 円

3. 日 程

平成27年3月より現地の法令に従って解散・清算の手続きを開始し、平成27年12月末日までに残余財産の分配を受け、清算終了となる見込みであります。

4. 放棄する債権の内容

- (1) 債権の種類 貸付金
- (2) 債権の金額 2億円程度
- (3) 実施日 平成27年2月を予定しております。

5. 解散に伴う損失額および今後の見通し

台湾クロス社の解散に伴う損失額については過年度の決算において引当済みのものが大半であり、今年度の連結及び個別業績に与える影響は軽微と考えております。

以 上

(参考) 当期連結業績予想 (平成26年5月14日公表分) 及び前期連結実績 (単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成27年3月期)	40,000	900	900	650
前期連結実績 (平成26年3月期)	41,077	1,204	1,221	512